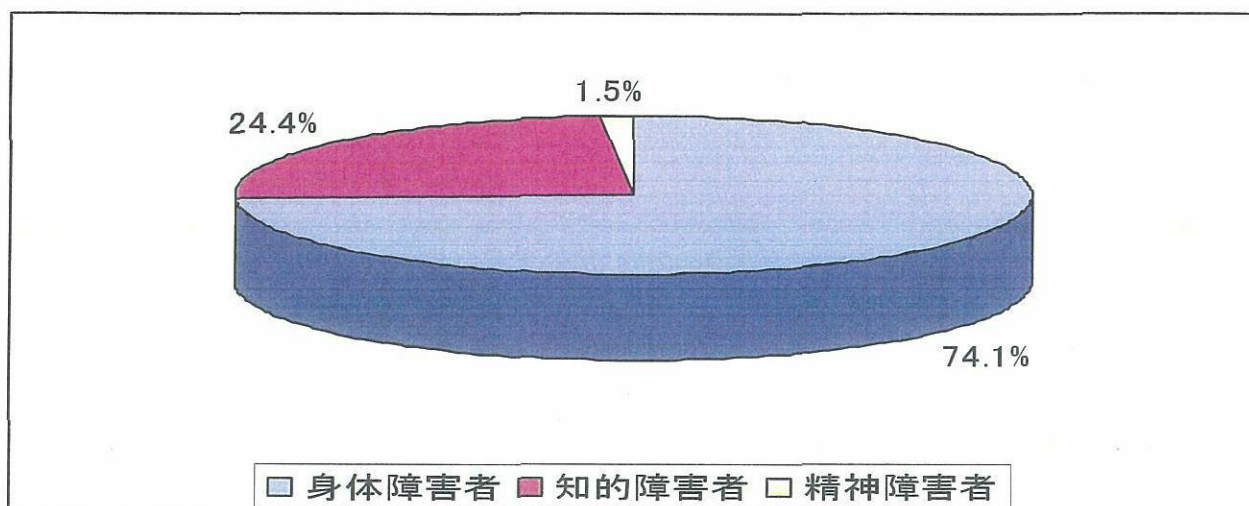


## 5. 雇用している障害者の区分について

- 全回答企業において、現在雇用されている障害者数は1,980人であり、その内訳は身体障害者74.1%（1,471人）、知的障害者24.4%（485人）、精神障害者1.5%（29人）となっている（同一人で複数の区分に該当する者有り）。また、そのうち、重度障害者は、身体障害者414人、知的障害者118人である。



- 業種別にみると、全体の半数弱が製造業で雇用されており、次いでサービス業で18.5%の者が雇用されている。また、一社当りの雇用数においても、製造業、小売業が多い。
- 製造業において、知的障害者の雇用が比較的多い。
- 企業規模別では、101～200人規模の企業での雇用が多いが、企業規模が大きくなるほど、一社あたりの雇用数は増加する。

回答企業の業種、回答企業の従業員数	身体障害者	知的障害者	精神障害者	合計人数	比率	一社当り雇用者数
合計	74.1	24.4	1.5	1985	100.0	2.69
製造業	66.8	31.5	1.7	926	46.7	3.12
情報通信業	100.0	-	-	24	1.2	1.33
運輸業	89.3	10.7	-	187	9.4	2.49
建設業	98.4	1.6	-	62	3.1	1.41
卸売業	78.9	19.5	1.6	123	6.2	2.05
小売業	84.2	15.4	0.4	221	11.1	3.11
サービス業	70.0	28.1	1.9	366	18.5	2.58
その他	90.0	4.0	6.0	50	2.5	2.50
無回答	65.4	34.6	-	26	1.3	2.17
55人以下	70.0	27.5	2.5	40	2.0	1.25
56～100人	73.7	25.0	1.3	312	15.7	1.78
101～200人	74.0	25.0	1.0	613	30.9	2.49
201～300人	78.8	20.3	0.9	527	26.6	2.73
301人以上	70.2	27.2	2.6	459	23.1	5.73
無回答	64.7	32.4	2.9	34	1.7	2.62